

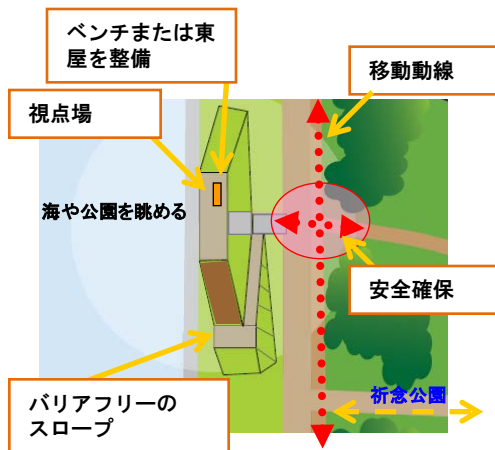
# ルート①『雲雀野海岸』

海に思いを馳せる

## 「太平洋を眺める潮風のルート」

### ルートイメージ

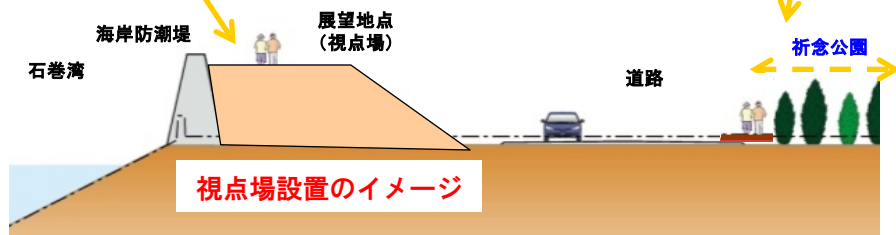
- 海岸防潮堤に沿って、海を眺める視点を設ける。
- プロムナードとしてのルートは公園敷地内とも連携させ、海辺を眺める視点は祈念公園とも分担して多様な眺望を創出する。
- 安全を確保しつつ、ルート①と祈念公園の往来もできる設定を考慮



スポット的に盛土を行い、海を眺望出来る視点場の確保

石巻港の客船寄港と連携したルート

公園内にも海を眺める視点場(高台)を設置し、ルート①と合わせて多様な眺望を確保



※図はイメージであり確定したものではありません。

### 利活用方策

- 石巻湾からの心地よい風が吹き、海岸に打ち寄せる波の音を聞きながら、往来する船や遠くの島々を眺められ、景色を眺めながらくつろげる場所として利用する(⇒ベンチなど休憩施設を設置)
- プロムナード利用を推進する観点から、拠点Bの公園とルート①を利用したウォーキング講習会やレクリエーションなどを企画実施する。
- サイクリングロードとしても利用可能なようにする。
- 臨港道路の横断は、安全性が確保できるように検討する。
- プロムナードの維持管理や利活用を推進するため、市民団体による清掃活動やイベント企画・実施などを推進する。
- 石巻港の客船寄港やイベントと祈念公園を連携し、訪れる乗客に、この地で起きた震災と石巻の復興の歩みを知ってもらう。



ベンチを眺められる



▲海辺のウォーキングイメージ



▲清掃活動イメージ



▲客船寄港イメージ



▲港湾感謝祭イメージ

# 各ルート・拠点の見直し案

## ルート②

### 『旧北上川右岸下流』の見直し(案)



- 祈念公園、水上交通・水面利用、観光と賑わいの拠点及び石巻の歴史と文化の伝承拠点を一連で結びつける機能
- 人々が集い、堤防や水辺を快適に散策できる空間

いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる

## 「旧北上川と石巻湊ルート」

### ルートの見直し(案)

- ・ 中心市街地からの観光周遊やプロムナードの各拠点間の回遊性を確保するとともに水辺に近づきやすいように配慮
- ・ 安全に快適に水辺と緑を感じながら散策できるプロムナード
- ・ 移動途中に休憩し、水辺の景色を眺められるように配慮
- ・ プロムナードから親水空間に行き易いように工夫する。(階段やスロープ)
- ・ 水辺に親しむ・変化をもたせる・植栽などの工夫をする。

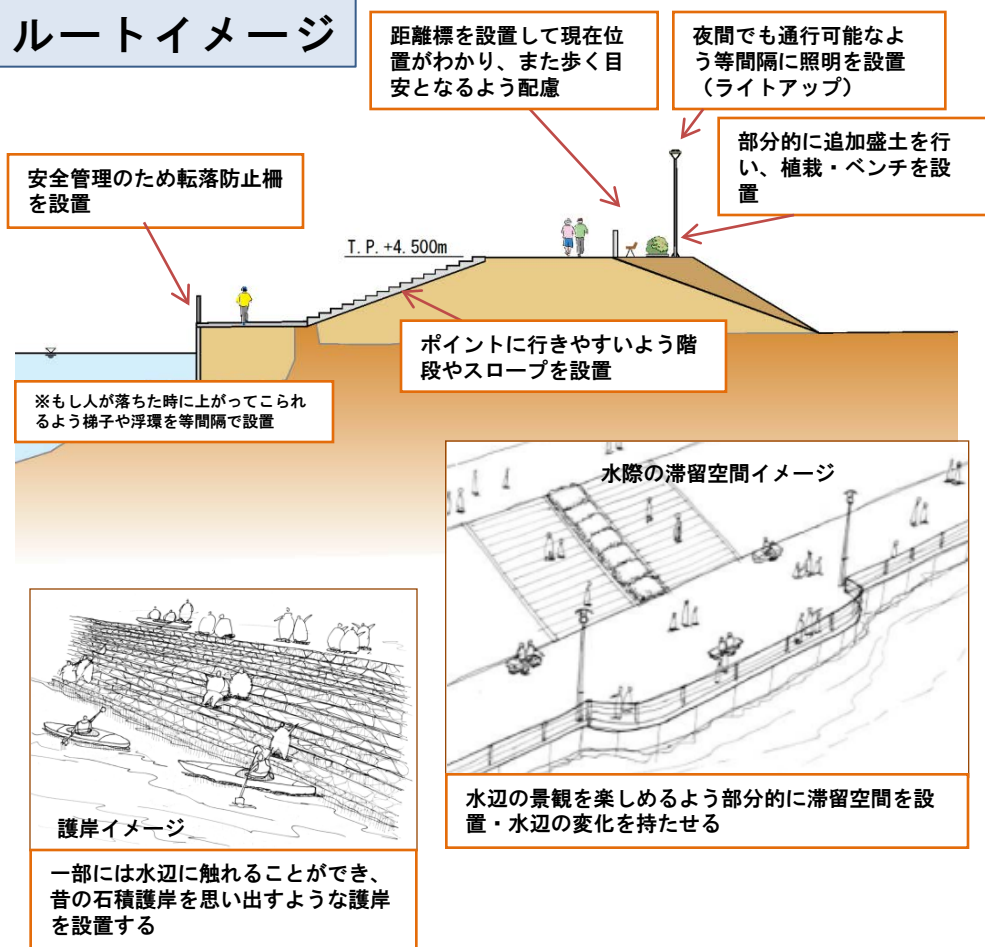
なお、ルート②は下記の点に留意する。

- ・ 中央街区付近は観光拠点の場として趣のある舗装(例：インターロッキングや木材チップ)を施し、夜間の安全にも寄与する照明やフットライト等を整備する。
- ・ プロムナードの移動を容易とするため、安全を確保してサイクリングロードとして活用する。(拠点C付近は歩行者動線との分離に配慮した運用を検討する。)
- ・ 中瀬との連携を考慮し、石巻の歴史・文化に関するサインや看板を設置し、学びの空間を設ける。
- ・ 住吉小学校周辺の水辺では、環境学習等も可能な、階段護岸の設置等による親水空間を創出する。
- ・ 水際部には転落防止柵を設置し、万が一落ちた場合でも上れるよう梯子や浮環等を等間隔で設置する。また、人が多く利用する階段には手すりを設ける。

# ルート②『旧北上川右岸下流』 (1/2)

## いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる 「旧北上川と石巻湊ルート」

### ルートイメージ



※堤防や護岸はイメージであり確定したものではありません。

## 利 活 用 方 策

- 門脇や住吉地区は、江戸から明治にかけて千石船やひらた船が接岸した石巻湊の中心地であり、被災を免れた史跡を探訪することができる。プロムナードは点在する史跡を探訪する際の幹線ルートとなる。
- 石巻の既存の散策路や堤防上では散歩やウォーキングを楽しんでいる方を多く見かける。休憩施設や親水空間へ行きやすい工夫を整備し、住民の憩いの場を創出する。



史跡探訪のイメージ



ウォーキングイメージ

- 水辺の緑を創出・管理するため、町内会等により水辺愛護会(仮称)を結成し、河川清掃や植栽管理(植栽ポット)を推進。



植栽ポットイメージ



河川清掃イメージ

- 水辺を散策しながら旧北上川や水辺の環境などを学べるような施設を検討
- 人々に安らぎを与える景観やデザインを検討
- 中央街区付近は観光拠点の場としてインターロッキングや歩きやすい木材チップ等の舗装を施し、夜間の安全にも寄与する照明やフットライト等を検討する。
- プロムナードの移動を容易にするため、安全を確保した上でサイクリングロードとしても活用する(レンタサイクルの発着所を整備)



憩いの空間イメージ



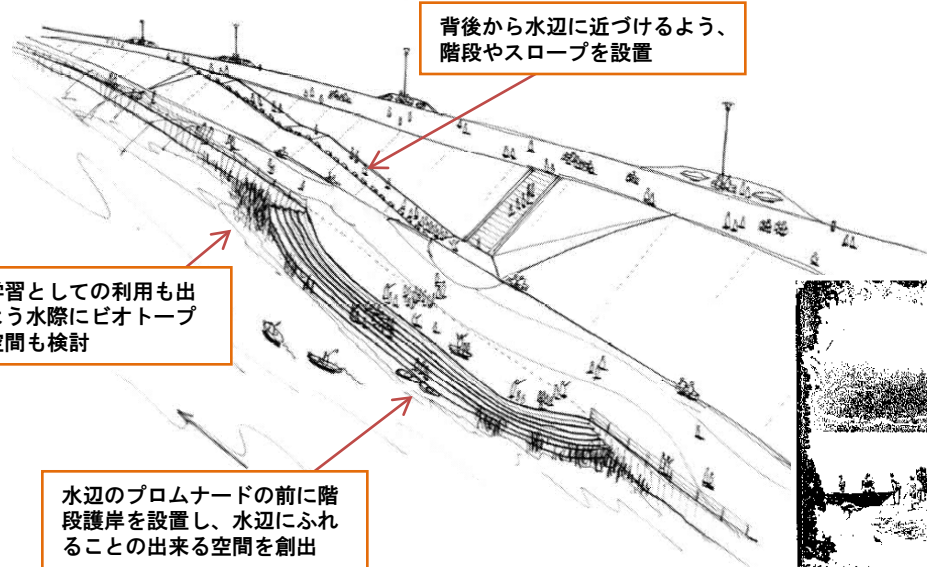
夜のpromナードイメージ



## いにしへの石巻湊と賑わいを訪ねる 「旧北上川と石巻湊ルート」

### 親水空間イメージ

- ◆ 例えば、住吉小学校付近に水際に突き出した部分が残される空間がある。これを利用して、階段護岸の設置等により親水空間を創出するとともに、小学生の環境学習等としての利用も可能とする。



背後から水辺に近づけるよう、  
階段やスロープを設置

環境学習としての利用も出  
来るよう水際にビオトープ  
的な空間も検討

水辺のプロムナードの前に階  
段護岸を設置し、水辺にふれ  
ることの出来る空間を創出

親水空間の整備イメージ

### 利活用方策

- 住吉小学校の環境学習の場(水辺の楽校)として、旧北上川の歴史や、河川環境を学ぶイベント等の開催を検討
- カヌー団体のカヌー教室・川下りイベントや学校の漕艇部等の発着所としての活用を検討



環境学習のイメージ

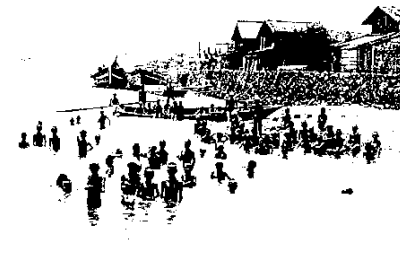


現況

※堤防はイメージであり確定したものではありません。



写真提供 原井 幸治 大正初期の北上川下流 住吉小学校前



当時、北上川で泳ぐ住吉小学校の児童達(昭和初期)

### 大正・昭和初期の住吉小学校での河川利用の様子

- ◆ 住吉周辺の水辺では、大正から昭和初期にかけて住吉小学校の児童が学校前の河原で水泳を楽しんでいた歴史がある。

「石巻地方研究 第4号」「目で見える石巻・桃生・牡鹿の100年」より